

平成30年 死亡災害発生状況

(平成30年8月6日現在)

加古川労働基準監督署

前年同期:6件

	発生月	業種	事故の型	性別	年齢	経験年数	災害の発生状況
	場所	規模	起因物	職種			
1	3月	製造業	墜落、転落	男	28歳	3年	補修工事を行うこととなった設備の清掃をするため、設備の上方にある清掃箇所に向かっていた被災者が、墜落を防止するための措置がなかった設備の端部から墜落したものの。
	加古川市	1000人以上	その他の装置等	作業員			
2	6月	建設業	高温・低温の物との接触(熱中症)	男	41歳	20年	戸建て住宅新築工事において、基礎土台組、床貼作業をしていた被災者が体調不良を訴えた後に動けなくなり、病院に搬送したが治療中に死亡したものの。
	小野市	3人	高温・低温環境	大工			
3	7月	製造業	はさまれ、巻き込まれ	男	46歳	6年	シャトルコンベア(以下「コンベア」という。)に発生した不具合に対処するため、コンベアとの接触防止のために設置された手すりから身を乗り出して作業していたが、他の労働者がこれに気づかずにコンベアを起動させたため、手すりとコンベアの間にはさまれたものの。
	小野市	20人	コンベア	作業員			
4	7月	製造業	崩壊、倒壊	男	23歳	5年	元方事業場の構内で作業中、隣接する箇所を試運転が行われていた移動式クレーンのジブが折損して被災者の方向に倒れ、飛散した部材に当たる等したものの。
	高砂市	10人	移動式クレーン	作業員			
5	7月	建設業	高温・低温の物との接触(熱中症)	男	50歳	1年	建築工事開始前の地盤調査を行っていたときに体調が優れない様子であったことから帰宅させたが、帰宅途中に通行人からの通報で救急搬送され、入院加療中であったが8月4日に死亡したものの。
	明石市	2人	高温・低温環境	作業員			

※本表は、死亡災害報告情報により作成したものの。